

2024年4月18日

株式会社オギノ

オギノと富士宮市が災害時における物資供給に関する協定締結

株式会社オギノ（本社：山梨県甲府市、代表取締役社長：荻野 寛二、以下「オギノ」）は、富士宮市（市長：須藤秀忠）と「災害時における物資供給に関する協定」を締結しました。

オギノは、地域社会を支える総合小売業として、「食・住・衣を通じて、変化するお客様の日常生活を絶え間なく支え、創造し、豊かにする」を企業使命とし、山梨県を中心に静岡県、長野県でスーパーマーケット事業を展開しています。昨年、富士宮市に万野原店、弓沢店の2店舗を新規に開店しました。そこで、緊急時の地域防災の一端を担うことを目的に協定を締結しました。

富士宮市は、富士山本宮浅間大社の門前町として古くから栄え、歴史的文化施設や自然を生かした観光施設があり、県内外からの観光客が多く、静岡県と山梨県を結ぶ重要な場所に位置しています。また、静岡県は山梨県とともに富士山噴火や地震による影響が高いとされており、防災対策が重視されています。

この度の協定の締結により、災害発生時又は発生するおそれがある時において、市からの要請に基づき、オギノが取り扱っている食料品、飲料水、生活必需品の調達が可能となります。物資供給の支援により、長期的な避難所生活で懸念される物資不足の解消につながります。

本日、富士宮市役所にて、締結式を執り行いました。

（以下、締結式の様子/右：富士宮市長 須藤秀忠様 左：当社代表取締役社長 荻野寛二）



以上